

互いに支え合いながら、たくましく生きていく力、すなわち「社会に対応できる力」を身に付けていくために、確かな学力「知」、豊かな心「徳」、健やかな体「体」という人間力を育成することが求められており、その基盤となる教育環境の充実に努めます。

そのため、子どもたちの学びの中心となる学校、子育ての基盤となる家庭と地域等、学校教育を支える全ての関係者が、それぞれの役割を果たし、互いにしっかりと連携することが大切です。

このことから、子どもたちがより良い教育環境のもとで生き生きと学び、活動できる教育の推進をはじめ、幼児から高齢者までの町民に対する各種事業について、令和3年度予算に反映させました。

内容については、教育長より申し上げますが、私

ら特に申し上げたいこととしては、新型コロナウイルス感染症拡大による最大の被害者は子どもたちであり、今後の不測の事態に備え整備しましたICT環境を活用し、学習機会と学力の保障、さらには安全・安心につながることもできる居場所の確保に努めます。

次に、しかべ幼稚園の建替えについてですが、既住民設民営の公私連携幼保連携型認定こども園を整備するという方向性を決めており、今後も建設予定地等について議員皆様と協議しながら、町民皆様からご意見を伺い、一刻も早く建替えができるよう努めます。

また、町民がいつでも学習やスポーツに親しめる環境づくりのため、それらの拠点施設である中央公民館、総合体育館等については、管理方法を見直し経費削減に努めながらも安全・安心に利用できるように、よ

り申し上げますが、私

り一層の施設の充実と管理運営に努め、社会教育及び生涯学習の向上を図ります。いずれにしても、幼児から高齢者までの各世代にわたる生涯学習社会実現のため教育委員会と十分連携を図り、教育行政を進めます。

国民健康保険事業 勘定特別会計

次に、国民健康保険事業について申し上げます。

国民健康保険事業は、近年、会計運営が黒字となつていますが、被保険者の高齢化に伴い、被保険者数が減少傾向になりつつも、医療費の増加が予想されます。

また、全道的な賦課方式の統一などを踏まえ、北海道への納付金及び賦課総額に注視しつつ、被保険者への適正な保険税負担を目指

すために、令和3年度において税率改正を行います。

なお、保健事業では、データヘルス計画に基づき、特定健診などを推進していくほか、保険証の発行や保険税の決定と徴収を引き続き適正に対応します。

介護保険事業 特別会計

次に、介護保険事業特別会計について申し上げます。

高齢化が急速に進む中、日常生活の支援が必要な高齢者や高齢者世帯、さらには認知症高齢者も年々増加しています。高齢者が安心して住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう、令和3年度からは「第8期鹿部町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき介護保険事業の円滑な事業運営を行います。

また、地域包括支援センターを中心に介護予防事業や認知症施策の推進に取り組み、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体に提供される「地域包括ケアシステム」を充実させ、高齢者が住み慣れたまちで、生き生きと暮らせる町の実現を目指します。

後期高齢者医療 特別会計

次に、後期高齢者医療保険事業について申し上げます。

後期高齢者医療保険制度は75才以上の高齢者を対象者として、道内の全市町村で構成する広域連合が保険事業を運営しており、市町村が窓口相談業務や保険料徴収業務を行っています。

国民健康保険から加入する保険者が年々増加してい